

令和5年度 ロボット清掃に関するアンケート調査

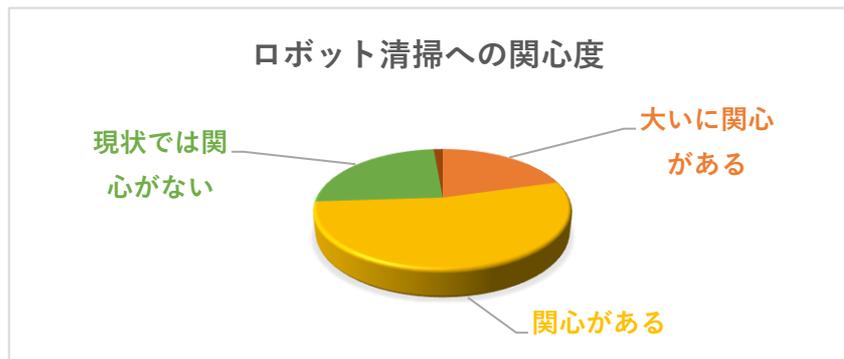
結果報告書

北海道ビルメンテナンス協会
札幌地区協議会

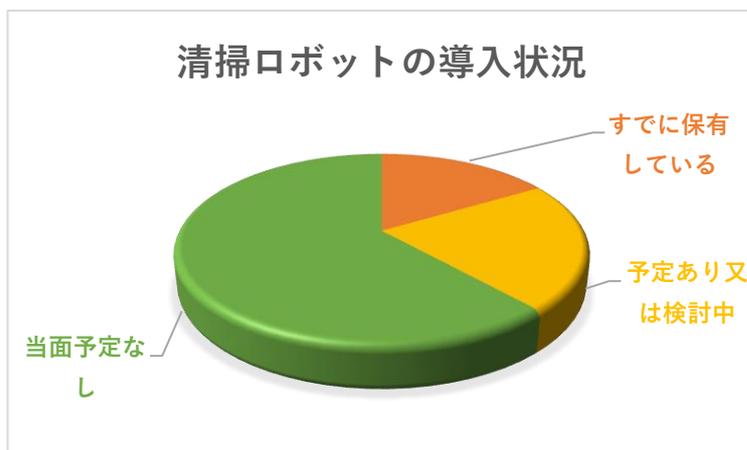
令和5年度 ロボット清掃に関するアンケート調査

- 調査期間 令和5年6月28日～7月14日
- 調査方法 無記名によるFAX回答方式
- 調査対象 札幌地区協議会正会員92社、準会員4社、賛助会員14社 合計110社
- 回答社数 回答数73社 回答率64.0%
- 調査受託 札幌地区協議会アドバイザー 行政書士 新谷光人

項目		合計	割合
Q1 ロボット清掃について	大いに興味がある	15	20.5
	興味がある	39	53.4
	現状では興味がない	18	24.7
	全く興味がない	1	1.4
	合計	73	100.0

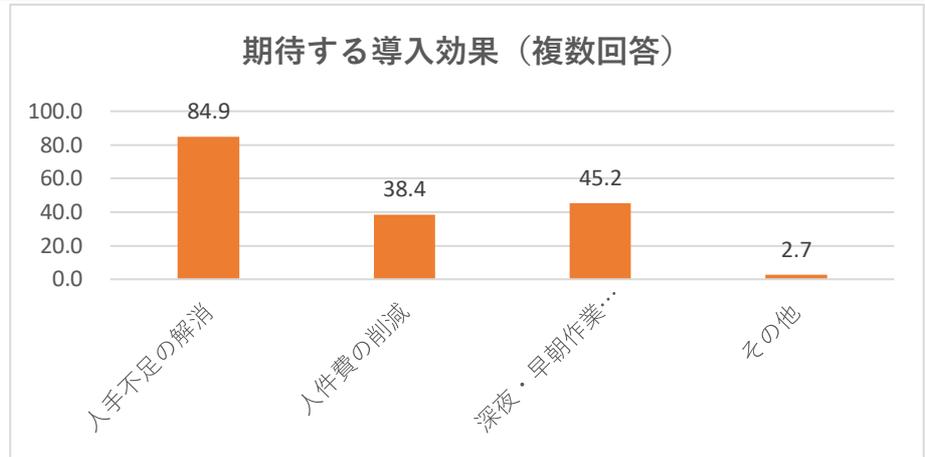


項目		合計	割合
Q2 清掃ロボットの導入状況について	すでに保有している	12	16.4
	予定あり又は検討中	16	21.9
	当面予定なし	45	61.7
	合計	73	100.0



すでに保有している	購入	17
	リース	13
合計		30台

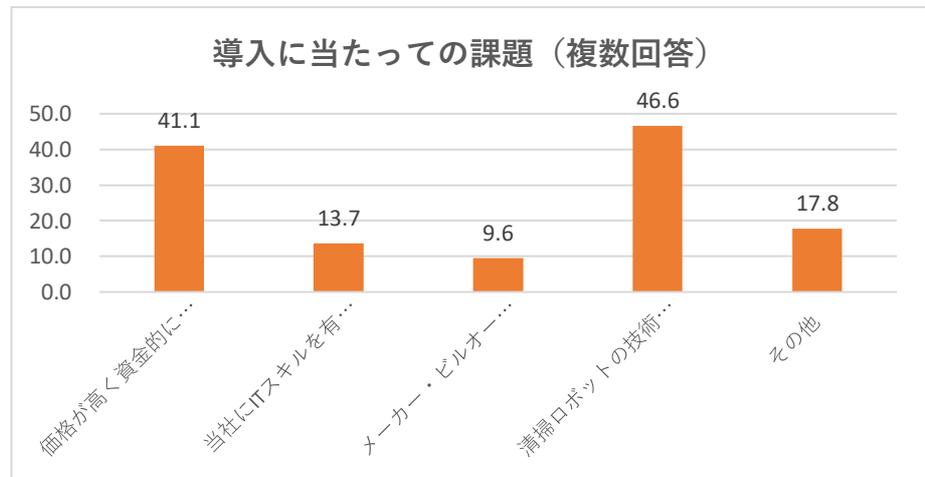
項目		合計	割合
Q3 ロボット清掃の導入効果として期待するもの（複数回答可）	人手不足の解消	62	84.9
	人件費の削減	28	38.4
	深夜・早朝作業の効率向上	33	45.2
	その他	2	2.7
	合 計（分母は回答社数）	73	—



その他の記載

- 清掃業務に予定なし
- 作業員の負担軽減

項目		合計	割合
Q4 ロボット清掃導入にあたっての課題（複数回答可）	価格が高く資金的に余裕がない	30	41.1
	当社にITスキルを有する人材がない	10	13.7
	メーカー・ビルオーナーとの交渉力が弱い	7	9.6
	清掃ロボットの技術レベルがまだ低い	34	46.6
	その他	13	17.8
合 計（分母は回答社数）	73	—	



その他の記載

- 現在のロボット技術での活用の場が無い
- 品質に自信がないためか、メーカーからのセールスが弱い
- ロボット清掃に必要な面積を保有していない
- 清掃業務は予定なし
- 医療機関での運用に課題あり
- 導入コストと人件費の削減、作業品質の維持
- ロボット技術の低さ
- 近々、初めての入荷のため、いろいろな対応面で不安
- 医療機関との協議
- 導入に適した現場がない
- フロアの上下移動等、人が介在する必要がある
- 費用効果と現場環境への適合柔軟性
- 障害物の少ない廊下、ロビーなどは良いが、トイレなどはロボットでは困難である

Q5 ロボット清掃に関する自由記載

- 狭い現場では費用対効果が合わない
- 警備と連動したロボットが実用的と考える
- 賛助会員のため導入予定はない
- まだ使用できる箇所が限られている印象
- 盗難や備品に衝突して壊してしまったときの保障はどうなっているのか
- 導入の効果は非常に大きいと思うが、利用者のケガや事故等の保険・補償について気になる
- より安価にならないと導入は難しい。
- バッテリーの駆動時間も今よりも長くならないと経済的ではない
- 人の作業を完全に補完できる段階になく、業務使用に相手方の了承を得られるか不明
- メーカーとして、ロボット清掃の効率的な運用の一助となる製品の開発が急務と考えている

以上